



# 皆野中だより 夏休み号



令和6年7月19日発行 第5号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

\*\*\*\*\*

【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成

【めざす学校像のキーワード】心理的安全性とウェルビーイング

生徒数 1年76名 2年73名 3年85名 合計234名

## 夏季休業日は自主研修期間

校長 板倉邦弘

本日で1学期の授業日（71日）が終了しました。明日から9月1日（日）まで、44日間の長期にわたる夏休み（夏季休業日）となります。

さて、6月27日の埼玉新聞に「夏休み廃止、短縮希望 60%」という記事がありました。民間団体のアンケートによると、「夏休みはなくてよい」「今より短い方がよい」と60%の世帯が回答しているそうです（ただし、記事には「困窮世帯」とありました）。理由としては、「子供が家にいると生活費がかかる」「子供の昼食を準備する手間や時間がかかる」等が挙げられていました。確かにずっと学校に行っていたら（皆野町は給食費無償でもあり）親としては楽なのだろうと感じましたが、何だかむなしい感情も湧いてきました。そもそも夏休みは、猛暑の気候の中では学習効率・効果が上がりず、児童生徒の健康を脅かす恐れもあることから設定されているものです。今の時代、教室にはエアコンもあり、「暑いから」だけの理由では、夏休みは必要ないのかも知れませんが（昔の暑さと今の暑さとは、全然違いますが…）。

しかし夏休みは、それだけではない意味・意義があります。本校では、普段の授業や部活動の時間を確保するために、夏季休業中に家庭訪問や保護者の皆様との面談を行っています。部活動の県大会、関東・全国大会なども生徒が授業を欠けることなく出場できるように夏休みに開催されています。進路に関わる高等学校等の上級学校の見学会や説明会、部活動体験などにも夏休みだから参加しやすくなっています。課題（宿題）以外にも、学習の遅れを取り戻したり、受験に向けて動き出したりできるのも夏休みです。中学生にとって、自分で考えて使える時間があるということは、とても意味があり価値があることだと思います。まさに、夏休みは生徒にとって大切な「自主研修期間」なのです。

結びに、夏季休業中の生徒は学校の管理下を離れ、教員の目の届かないところでの生活となります。スマートフォンやPC等の適切な扱いや管理につきましては、学校でも指導はいたしましたが、特にスマートフォン等につきましては、契約者である保護者の皆様に全面的にご配慮をお願いいたします。また、交通事故や様々な犯罪に巻き込まれないように、地域の皆様にも生徒を見守ってくださいますようお願い申し上げます。